

問い合わせ先		
(加齢性難聴への支援や介護 予防教室等に関する事)	(公民連携に関する事)	(実証プロジェクトに関する 事)
担当課 健康福祉局 長寿社会部 地域包括ケア推進課	担当課 市長公室 政策企画部 民間活力導入担当	担当課 市長公室 政策企画部 先進事業担当
直 通 072-228-0375	直 通 072-228-0289	直 通 072-228-7480
内 線 7270、7250	内 線 2320、2323	内 線 2330、2332
F A X 072-228-8918	F A X 072-222-9694	F A X 072-222-9694
	<small>さかいの未来を共に創るために。</small> Connect with.. さかい・コネクテッド・デスク	

加齢性難聴に対する「聴こえ」の支援機器に関する 実証プロジェクトを開始します

～よりクリアな「聴こえ」でウィズコロナ期の高齢者の暮らしを快適に～

超高齢社会を迎える現代では、加齢により聴力が低下する「加齢性難聴」が大きな社会問題の一つとなっています。本市でも、高齢者を対象とする介護予防教室において、参加者自身の聴力低下により、講師等の話し手の声が聞こえづらい等の「聴こえ」への対応が課題となっています。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点からも、大きな声で話すことは可能な限り控えることが重要であり、話し手が大きな声を出さずとも、会話の内容を相手に明瞭に伝えることが可能となる環境が求められています。

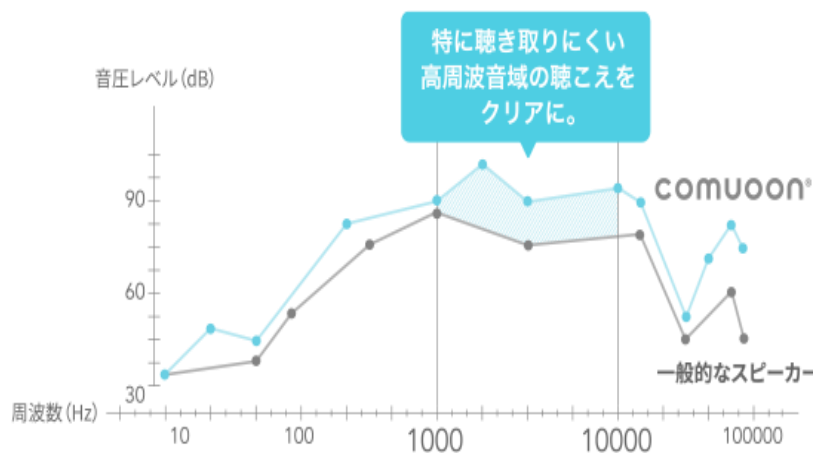
こうしたことから本市では、「話し手」の声を「加齢性難聴」の方でも聞きとりやすい音質に変換するスピーカーであるロボット技術対話型支援機器「comuoon (コミュニケーション)」を活用した、「聴こえ」に関する実証プロジェクトを下記のとおり実施します。

本プロジェクト実施後は、その検証結果をもとに、「加齢性難聴」に対する社会の理解促進や、市内介護サービス施設などでのロボット技術等による生活支援機器の導入促進につなげていきます。

記

- 実施概要** 本市が実施する介護予防教室の参加者に対して、高齢者が特に聞き取りにくい周波数帯である高周波音域の音をクリアにするスピーカーであるロボット技術対話型支援機器「comuoon」(ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社による開発・無償貸与)を活用した調査を行い、「聴こえ」に関する効果を検証します。
- 調査対象** 介護予防教室に参加する高齢者 約1,500名
- 実証期間** 令和2年10月1日～令和3年3月31日

【参考 (comuoon について)】



一般的なスピーカーと comuoon® の音圧比較グラフ

全く新しい聴覚サポート

Comuoon

コミュニケーション

耳につけない卓上型対話支援システム

難聴支援スピーカーで唯一難聴者への有用性が
日本耳鼻咽喉科学会で発表されています。

